

関越自動車道高架下活用計画案に対する
区民意見等の概要と区の考え方について

関越自動車道高架下活用計画案について説明会等でいただいた意見の概要と、それらに対する区の考え方について、次の表のとおりまとめた。

- ・意見等提出 34名
説明会前まで： 21名（ファックス 16名、電子メール 3名、電話 2名
- 説明会 : 24名（うち14名は、説明会前までにご意見を提出した方）
- 説明会后 : 3名（持参 1名 ファックス 2名）

- ・意見件数112件を66項目に分類

- ・・・趣旨を既に反映してある項目
- ・・・趣旨を今後の検討に反映する項目
- △・・・その他
- －・・・対応できない項目

	意見の要旨	区の考え方	対応状況
第1 高架下活用全般			
1	なぜ、この場所に作るようになったのか。	高架道路下の活用については、国が「抑制の方針」から、「まちづくりや賑わいの創出に資する有効活用を推進する方針」へと転換しました。 区は、原則的に無償で借りられる関越自動車道高架下の空間を有効活用することで、長期計画に掲げる施設などを土地代をかけずに早期に整備することが可能と考えています。この整備により、地域の利便性の向上とまちの活性化に役立てていきたいと考えています。	△
2	色々な施設ができるのはうれしい。施設を利用したい人は多いはず。	区としても、関越自動車道高架下の空間を有効活用して、長期計画に掲げる施設などの整備の実現を図り、地域での利便性の向上とまちの活性化に役立てていきたいと考え	○
3	未利用の土地を有効利用するのはすばらしいと思う。		○

4	区の計画案については、全体的に賛成である。	ています。	○
5	地域にとってプラスになる。		○
6	平成26年度整備目標は時間がかかりすぎる。早めに整備できないか。	当面の整備目標は平成26年度ですが、設計期間や整備期間が短期な施設につきましては、進捗によっては完成時期が早くなることも考えられます。	□
7	区が高架下を道路管理者から借りる際の条件（規制）を明確に公表してほしい。	高架下の占用許可基準等については、以下のアドレスの国土交通省ホームページで公表されています（平成21年1月26日国道利第19号）。 http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/senyo/senyo.html	△
8	そもそも区の素案はどのような人が関わり作られたのか。	当該高架下の利用計画については、道路所有者自らが区の提案を聞いた上で策定することとなっています。 区としては、有効な提案となるよう、行政計画上、必要性の高い施設の整備を中心として考え、沿線の町会・自治会の方々のご意向をお聞きしたうえで、大枠の方向性を素案としてまとめました。	△
9	3月の説明会后に区に寄せられた意見について、どのように捉え、今回、案として反映させたのか。	素案から案への主な変更点としては、お寄せいただいたご意見を踏まえ、町会・自治会等が利用できる倉庫の整備、地域スペースの広場状整備、通行の安全を図るための「歩行空間・植栽帯」を全区間に整備することを計画に盛り込みました。 また、風通しの確保について分かりやすく示すために「立面イメージ」を記載しました。	△
10	石神井公園駅高架下の活用は広く意見募集を行ったが、関越高架下活用はそうではない。区が独断で素案を作った理由は。	当該高架下の利用計画については、道路所有者自らが区の提案を聞いた上で策定することとなっています。 区有地ではなく区に利用の決定権が無いことから、不確実な状況での検討にならざるを得ないという制約があります。従って、まずは区	△

		において行政計画上、必要性の高い施設を中心に素案として作成し、大枠の方向性が見えた段階で、地域の皆さまと協議することが望ましいと判断したものです。	
11	今期に手続きを進めないといけない理由は。	練馬区長期計画では、高齢者センターおよびリサイクルセンターについて、平成26年度までに整備することとしており、その計画に沿った実現をめざすためです。	△
12	「住民説明会」ではなく「意見交換会」か「区民の意見を聞く会」に修正してほしい。会の時間配分は、最初に区長か企画部長の挨拶のみとし、あとは特に側道住民の意見を十分に聞いてほしい。	住民説明会では、参加者の方々の「意見交換」を重視し、進行についても、区からの説明は要点のみとし、「意見交換」に多く時間を配分いたしました。	○
13	今回の計画は白紙に戻して、区民の参加・参画・協働を実現するため、区民の意見を聞いてほしい。	今後も引き続き、検討の進捗にあわせて、適宜、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、進めていきます。	<input type="checkbox"/>
14	町会以外の地域住民の意見を聞いてほしい。		<input type="checkbox"/>
15	高架下を住民に開放するのは賛成。子どもたちのためにすべき。子どもも参加する住民による検討委員会を設置して、一から検討すべき。		<input type="checkbox"/>
16	説明会は地域住民が納得し合意が得られるまで、何回でも行ってほしい。なぜ、説明会日程を区議会にも諮らず区報に載せたのか。	今後も引き続き、検討の進捗にあわせて、適宜、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、進めていきます。 なお、住民説明会の日程のご案内につきましては、より多くの参加者を見込むため、一定の周知期間が必要と考え、区報発行日との関係で、区議会企画総務委員会と同日の11月11日発行の区報に掲載させていただきました。	<input type="checkbox"/>
17	次回の説明会の日程も教えてほしい。	今後も引き続き、検討の進捗にあわせて、適宜、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、進めていきます。説明会等の開催に際しては、関係する区民の皆さまにあらためてお知らせします。	<input type="checkbox"/>

18	沿線町会のうち、説明会の案内が回覧されなかった町会があるが、なぜか。	区は、周知するためのリーフレットを必要部数作成し、沿線町会・自治会に対して回覧していただくよう、お願いいたしました。	△
19	説明会では、区が説明会の案内を個別配布した沿線100メートルの沿線住民が手をあげていても、指されずに発言ができなかったのは、適切ではなかった。	説明会にご出席された方には、ご意見シートを配付しており、ご発言できなかった方に対しても、ご意見をお寄せいただくことができるようにしました。	△
20	計画案に対して事前に寄せられた意見・質問に対して、区は回答し、関越から100メートル地域に配布すべき。	お寄せいただいたご意見・ご質問の概要と区の考え方については、今後、区ホームページで公表します。	△
21	事前に質問を出した人全員に、回答書を郵送すべき。	お届け先が分かっている方に対しては、今後、ご意見・ご質問の概要と区の考え方をお届けします。	△
第2 高架下に建物を整備することについて			
22	高架下に建物を作るのは反対。	スポーツ関連スペースおよび地域交流スペースを整備し、そのスペースはオープンスペース構造とするなど、一部の機能については、建物の整備はしません。	—
23	全区画、建物は建てず、広場として利用してほしい。		—
24	高架下利用と長期計画は別である。高齢者センターとリサイクルセンターが高架下に適切だと区が考える理由を示してほしい。	練馬区長期計画では、大泉地域に高齢者センターとリサイクルセンターの整備を計画化していますが、当該高架下箇所は大泉地域のほぼ中心部に位置しているため、立地の面からも適切と考えています。	△
25	大泉地区に高齢者センター・リサイクルセンターを作ることは賛成だが、高架下は不向き。地域住民の立場に立って、より良い場所に作ってほしい。		—
26	関越道が作られるときに、高架下は空けておくことが条件だった。地域分断につながるし、建物を建てない方法で利用してほしい。	道路を高架式とした経緯の詳細については、関係機関に確認するなど、調査を進めているところです。道路建設の経緯を踏まえつつも、現在の状況において最も適切な活用を進めていくことが必要と考えています。	□
27	「くら寿司」通りより西側に建物が集まっているのはなぜか。	高齢者センター・リサイクルセンターにとって、交通至便の「大泉学園通り」に近く、且つ、既存の同種施設と同様の面積を区画内で確保できるようにするためです。	△

28	高架下に大きな建物を建てるのは反対。風通し・見通しが悪くなる。大気汚染がひどくなる。	風通しについては、オープンスペース構造部分があること、南北に抜ける道路が8本あること、大規模な施設ではなく低層であり道路桁下や施設間の空間もあることから、確保できるものと考えています。	□ および —
29	風通し・地域分断という話も、高架下を活用するからといって、影響が出るとは考えられない。	見通しについては、防犯上の観点も含め、警察署、消防署および地域の方々と協議を行い、必要な対策を行っていきます。 大気汚染については、風通しも確保でき、また、施設の性格上、車での来場が常態となることは想定していないため、悪化することは考えていません。	○
30	高架下はNEXCO東日本が管理する施設で、その妨げになってはいけない。高速道路の改修時には立ち退かなければならない。	高架下の占用許可基準等では、橋脚・柱・桁下から一定距離を空けて整備することが求められており、高速道路の維持管理の支障にならないよう活用します。	○ および —
31	高齢者センター・リサイクルセンターは他の3地域並みの環境地に建てるべき。	当該高架下周辺の側道部分に関する区の環境調査では、騒音・振動・窒素酸化物については、いずれも環境基準等は満たしています。	—
32	騒音・振動も対策をすれば問題ない。	また、整備にあたっては、高架下箇所環境調査を行うなどして、状況を把握した上で、必要な対策を行っていきます。	○
33	和光市には外環道のふたかけ部分に高齢者センターがある。参考にすべき。「紳士服のアオキ」の隣の土地は練馬区有地であり、そちらの方が安定して使える。リサイクルセンターについても同様のことが言える。	区内における外環道のふたかけ部分については、大江戸線延伸を見据えたまちづくりに沿った活用が考えられることから、当面は現状の暫定利用を続けていくことが望ましいと考えています。 なお、「紳士服のアオキ」の隣にある区有地については、既存の高齢者センターおよびリサイクルセンターと同様の面積を確保するのは困難です。	—
34	練馬区で持っている別の土地に整備すればよい。高架下は車の交通の問題もある。別の場所での整備を考えてほしい。	計画案の施設敷地として活用可能な規模を有する区有地については、現時点では全ての区有地が既に活用済み、あるいは活用の方向性が決まっており、遊休地はありません。	—

		<p>ん。</p> <p>車両の交通対策については、警察署と協議を行い、安全面での対策を行っていきます。</p>	
第3	高架下の環境について		
35	<p>側道の環境測定について、平成20年・21年のデータを教えてほしい。高架下を開放した場合は、環境数値が把握できるような設備を配置してほしい。</p>	<p>側道の環境測定については、騒音・振動・窒素酸化物はいずれも環境基準等を満たしています。詳細については「ねりまのかんきょう」に掲載していますので、ご参照ください。</p> <p>また、整備にあたっては、高架下箇所の環境調査を行うなどして、状況を把握した上で、必要な対策を行っていきます。</p>	□
36	<p>区の高架下活用計画案は、練馬区環境基本計画にある「望ましい将来像」「環境の保全」に相反する考え方だと思う。</p>	<p>現在策定中の「練馬区環境計画（案）」では、望ましい将来像として、「ともに築く 循環・共生のまち ねりま」を掲げており、様々な取組みを通じて環境の保全を図っていくこととしています。</p> <p>当該高架下の活用にあっても、今後も引き続き、適宜、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、地域の皆さまとともに環境の保全に努めていきます。</p>	—
第4	高齢者センター		
37	<p>高齢者センターは、どのような施設か。地域集会所や地区区民館などで提供されている既存の高齢者サービスと比較した場合の内容や特徴は。高齢者であれば誰でも利用可能な施設なのか。利用は無料なのか。高齢者の利用ということでどんな工夫が凝らしてあるのか。</p>	<p>高齢者センターは、生活健康相談室、機能回復訓練室、和室、娯楽室、講習室、浴室などを設け、高齢者の方々の健康増進・教養の向上・レクリエーションなどの事業や場所を提供する施設であり、地域集会所・地区区民館・敬老館には無い機能を備えるものです。区内在住の60歳以上の方々を対象とした施設で、利用は無料です。</p>	△
38	<p>高齢者センターは高架下に適正・適切のとの認識か。案で示す構造は、災害時を考えても危険だと思う。</p>	<p>当該高架下箇所は大泉地域のほぼ中心部に位置しているため、立地の面からも当該高架下での整備は適切と考えています。</p> <p>施設の構造については、設計の際に防災面も含めて詳細を検討して</p>	△

		いきます。	
39	高齢者センターにとっては、高架下は日当たりが悪く、且つ上が道路という悪環境になるので、行く気にならない。大泉の土木出張所などにも空き地があるので、そちらの方がよい。あるいは、近くの出張所などの区立施設を高架下につくり、そこを使うべき。	<p>高齢者センターが快適に利用されるよう、今後も引き続き、適宜、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。</p> <p>第四土木出張所については移転し、跡地は保育施設として活用する予定です。</p> <p>大泉北出張所については、引き続き地域の皆さまにとって分かりやすくご利用いただくために、現時点では、既存の場所でサービスを提供していきます。</p>	—
40	高齢者センターは長年地元住民に親しまれている場所を作るか、面積が足りないなら大泉北敬老館を改修して充実させればよい。それで、敬老館が近くに無いような、別の場所に作るべき。	高齢者センターの整備にあたっては、近隣にある大泉北敬老館のあり方も含めて検討していきます。	—
41	高齢者センターも高齢者に限らず、区民全体が利用できるとうよい。	高齢者センターの整備にあたっては、備える機能も含めて、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、進めていきます。	□
第5	リサイクルセンター		
42	リサイクルセンターに興味がある。どのような施設内容か。	リサイクルセンターは、地域のリサイクル活動の普及促進を図り、環境学習活動の中心施設として、「家具・生活用品などの販売・提供」や「学習会や環境イベントの実施」などを行う施設です。	△
43	リサイクルセンターは高架下に適正・適当との認識か。	当該高架下箇所は大泉地域のほぼ中心部に位置しているため、立地の面からも当該高架下での整備は適切と考えています。	△
44	3月の説明会では家具の販売は行わないとのことだったが、今回は行うようになっている。どうしてそうなったか。	<p>3月の住民説明会では、リサイクルセンターを含めて、各施設の区画および配置について重点的にご説明しました。</p> <p>今回の住民説明会では、それに加えて、施設の目的や機能などについてもご説明を加えました。</p> <p>なお、リサイクルセンターについ</p>	△

		ては、既存のリサイクルセンター同様の機能を想定したものです。	
45	リサイクルセンターは大型貨物搬出入の車両が多数出入りする。やめてほしい。	リサイクルセンターでは、「家具・生活用品などの販売・提供」を行うことを想定しており、既存のリサイクルセンターと同様に、家具・生活用品の運搬は行いますが、大型の車両が頻繁に搬入出することはありません。	—
第6	倉庫		
46	倉庫の中には何を入れるのか。	倉庫への収納物としては、区内の町会・自治会が所有する各種防災資機材や、イベント用の資機材などを第一に考えていますが、詳細につきましては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	△
47	倉庫は区の荷物置場にすべきではない。地域住民個人個人に還元すべき。	町会・自治会のイベント用資機材などについては、多くの町会・自治会が収納場所の確保に苦慮していると聞いており、また、年に数回しか使用しないものも多いため、離れた場所の倉庫でも一定の利用が見込まれると想定しています。 利用方法などの詳細につきましては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	△
48	町会・自治会が使用するには、近くに無いと意味が無い。地域住民や子どもたちへの利用にしてほしい。	町会・自治会のイベント用資機材などについては、多くの町会・自治会が収納場所の確保に苦慮していると聞いており、また、年に数回しか使用しないものも多いため、離れた場所の倉庫でも一定の利用が見込まれると想定しています。 利用方法などの詳細につきましては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	—
49	町会・自治会の防災資機材・イベント機材は今の倉庫で収納されており不足はない。	倉庫への収納物としては、区内の町会・自治会が所有する各種防災資機材や、イベント用の資機材などを第一に考えていますが、利用方法や構造などの詳細につきましては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	—
50	町会・自治会にとって、お祭りの道具や防災の機材などの置き場所に困っているので、とても嬉しく思っている。倉庫はどんなつくりを考えているのか。また、どんなものを入れてよいのか。利用者にとって使い勝手のよいものを希望します。	倉庫への収納物としては、区内の町会・自治会が所有する各種防災資機材や、イベント用の資機材などを第一に考えていますが、利用方法や構造などの詳細につきましては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	○
51	学校近くに整備すると、防犯上、不安が生じる。視界が確保できるコインパーキング等ならば設置しても構わない。	見通しについては、防犯上の観点も含め、警察署、消防署および地域の方々と協議を行い、必要な対策を行っていきます。	—

52	高架下活用自体は地域住民の生活向上に役立つと思うが、小学校の通学路脇が倉庫になるのは、安全面の部分で反対。		—
53	「くら寿司通り」の西の倉庫予定地は、一番事故の多いところでここも危険。	交通の安全を図るため、警察署と協議を行い、必要な対策を行っていきます。	—
54	大泉北小学校・大泉北中学校付近に倉庫を作ると、校庭の通風が悪くなる。	風通しについては、南北に抜ける道路があること、道路桁下や倉庫間の空間もあることから、確保できるものと考えています。	—
55	大泉北小学校・大泉北中学校付近に計画する箇所については、児童生徒・保護者を交え、その意見要望に沿って計画案を作成すべき。	整備にあたっては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、進めていきます。	<input type="checkbox"/>
56	小学校前は児童が安心して通学でき、且つ、有効活用もできる方向で考えるべき。	児童が安心して通学できるよう、今後もPTAや警察署と協議しながら、必要な対策を行っていきます。 また、整備にあたっては、今後も引き続き地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、有効利用を図っていきます。	<input type="checkbox"/>
第7 スポーツ関連スペース			
57	スポーツスペースはお年寄りだけでなく若者も利用できそうなので、賑わいの点からよいことだと思う。	地域の皆さまにとって、身近な場所でスポーツができる施設整備をめざします。	○
58	ボールの突く音などが騒音となる。	施設の利用方法については、今後、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	<input type="checkbox"/>
59	出入り口には施錠をするのか。		<input type="checkbox"/>
60	スポーツ関連スペースの利用時間帯は（早朝・夜間の利用は）。利用予約などは必要なのか。		<input type="checkbox"/>
第8 地域交流スペース			
61	地域交流スペースは子どもたちが遊べる遊具を設置してほしい。	地域交流スペースは、地域の皆さまの集いの場として、地域のイベント等の会場など、多目的に利用できるように整備を考えています。整備内容等、詳細につきましては、今後、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	<input type="checkbox"/>

第9 その他の活用機能			
62	ドッグランを作ってほしい。	地域交流スペースは、地域の皆さまの集いの場として、地域のイベント等の会場など、多目的に利用できるような整備を考えています。利用方法等、詳細につきましては、今後、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。	<input type="checkbox"/>
63	公園を作ってほしい。昆虫とか虫とか、自然に近くしてほしい。一部に池を作ってほしい。枯葉を集めて肥料を作りたい。	地域交流スペースは、地域の皆さまの集いの場として、地域のイベント等の会場など、多目的に利用できるような整備を考えています。整備内容等、詳細につきましては、今後、地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、検討していきます。 また、当該高架下の北側には「こぐれの森緑地」があり、高架下に整備を計画化しているリサイクルセンターと連携した環境学習の実施について、検討していきます。	<input type="checkbox"/>
第10 その他			
64	外環道のふたかけ部分を調査し、結果を提示してほしい。	区内における外環道のふたかけ部分については、大江戸線延伸を見据えたまちづくりに沿った活用が考えられることから、当面は現状の暫定利用を続けていくことが望ましいと考えています。	—
65	歩行空間は有難いが、歩道を作ることで施設の大きさが小さくなってしまわないか、心配している。	全区画の南側に歩行空間および植栽帯の整備を考えていますが、幅はあわせて5mほどであり、施設の規模に影響が出ない範囲で、通行者の安全確保を図っていきたいと考えています。	△
66	駐車場・駐輪場は確保されているのか。	今回計画している施設については、地域の方々がご利用される施設が中心となっているため、車での来場が常態となることは想定していませんが、搬入出用の車両や体のご不自由な方の車両などが駐車できるスペースは確保していきたいと考えています。駐輪場についても、一定程度のスペースを確保していきたいと考えています。	<input type="checkbox"/>

